

# 2008年3月期 中間決算説明会

1. 中間決算の概要(連結)
2. 当社の基本戦略
3. 当社の脳神経機器事業

2007年11月22日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

The background of the slide is a photograph of a bright blue sky filled with soft, white, fluffy clouds. A vibrant green, curved swoosh graphic starts from the bottom left and extends towards the top right, partially overlapping the text.

# 中間決算の概要(連結)

# 1) 当中間期の決算概要

売上高、利益ともに過去最高を更新

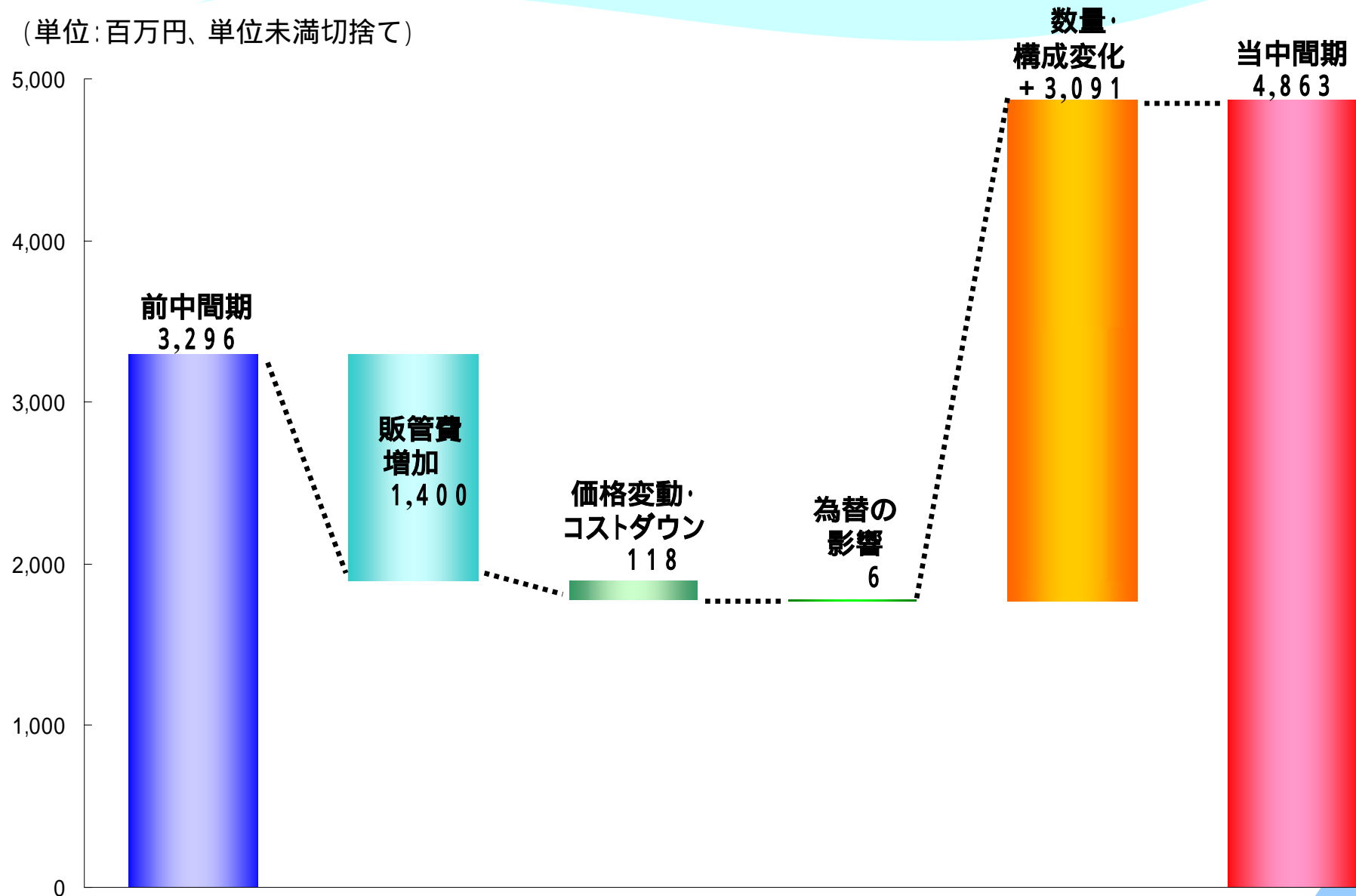
(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前中間期 (2006/9)	当中間期(2007/9)		
		期初予想	実績	増減率 (%)
売上高	47,113	48,400	50,730	7.7
営業利益	3,296	3,500	4,863	47.5
経常利益	3,558	3,600	4,918	38.2
中間純利益	2,049	2,100	2,938	43.4

(注)11月5日に中間業績予想の修正を発表いたしました。

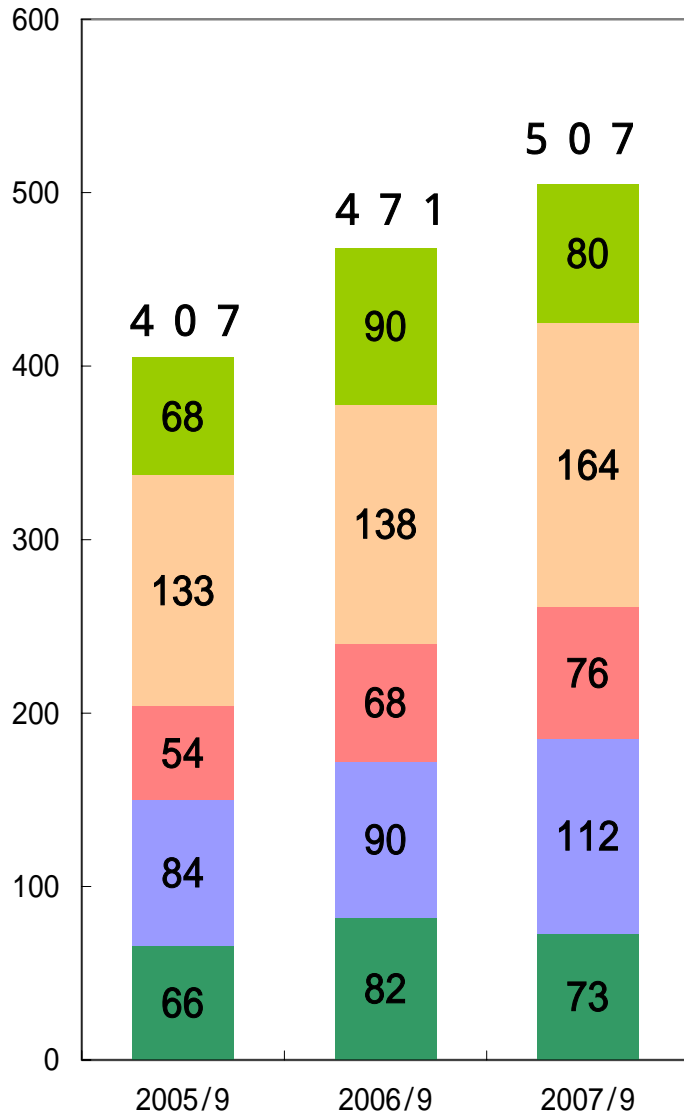
## 2) 営業利益増減の要因分析

(単位: 百万円、単位未満切捨て)



# 3) 商品群別売上高

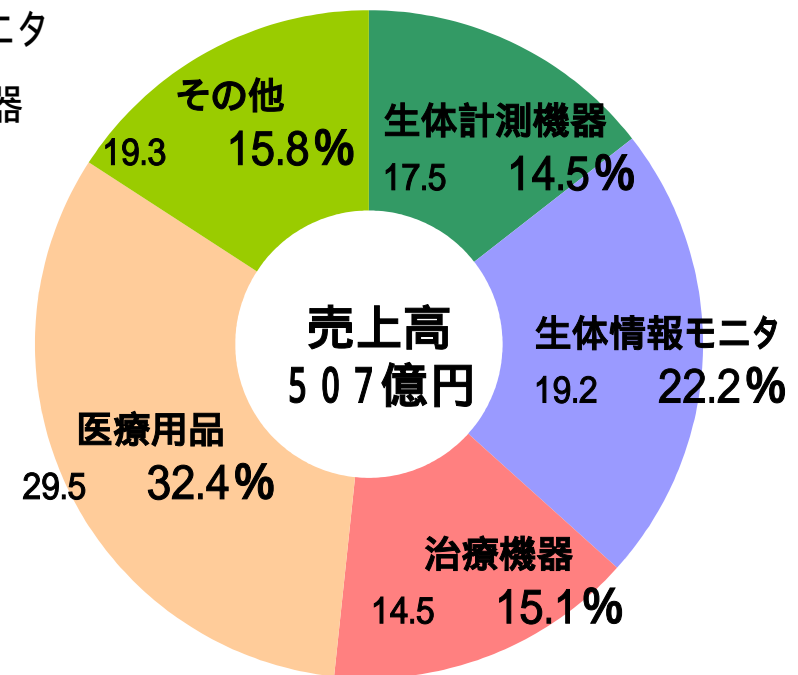
(単位: 億円)



- その他
- 医療用品
- 治療機器
- 生体情報モニタ
- 生体計測機器

## 商品群別売上構成比

(2006/9 2007/9)



# 3.1) 生体計測機器

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2006/9)	当中間期 (2007/9)	増減率(%)
脳神経系群	3,252	3,270	0.6
心電計群	3,300	2,787	15.5
ポリグラフ群	1,701	1,299	23.6
生体計測機器合計	8,252	7,356	10.9



神経機能検査装置  
MEE-1208/16/32



心電計 ECG-1250



ポリグラフ RMC-4000

## 3.2) 生体情報モニタ

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2006/9)	当中間期 (2007/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	9,065	11,276	24.4



ベッドサイドモニタ  
BSM-9101



セントラルモニタ  
CNS-9701

# 3.3-1) 治療機器

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2006/9)	当中間期 (2007/9)	増減率(%)
除細動器	3,821	4,574	19.7
ペースメーカー	1,690	1,713	1.4
人工呼吸器	846	901	6.5
その他治療器	447	452	1.2
治療機器合計	6,804	7,640	12.3



除細動器 TEC-7700

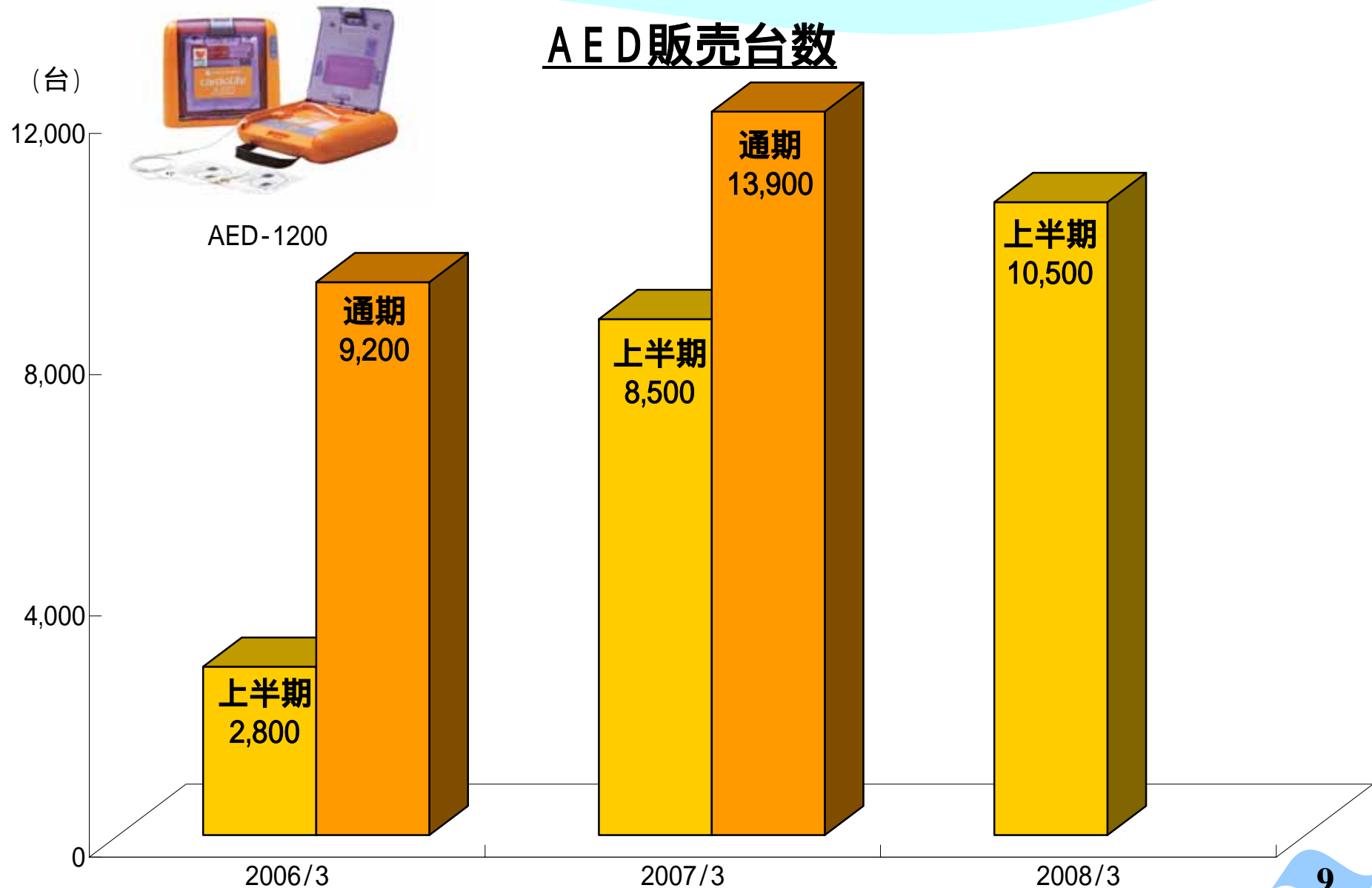


心臓ペースメーカー Protos DR



人工呼吸器 ラファエル カラー

## 3.3-2) AEDの販売実績



## 3.4) 医療用品

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2006/9)	当中間期 (2007/9)	増減率(%)
消 耗 品	11,033	13,501	22.4
修 理 ・ 保 守 他	2,864	2,952	3.1
医 療 用 品 合 計	13,897	16,453	18.4



フィンガープローブ TL-201T



Disposable Electrode N-03IS3

## 3.5) その他

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2006/9)	当中間期 (2007/9)	増減率 (%)
その他合計	9,094	8,003	12.0
うち検体検査装置	1,868	2,186	17.0



全自動血球計数器 MEK-6400

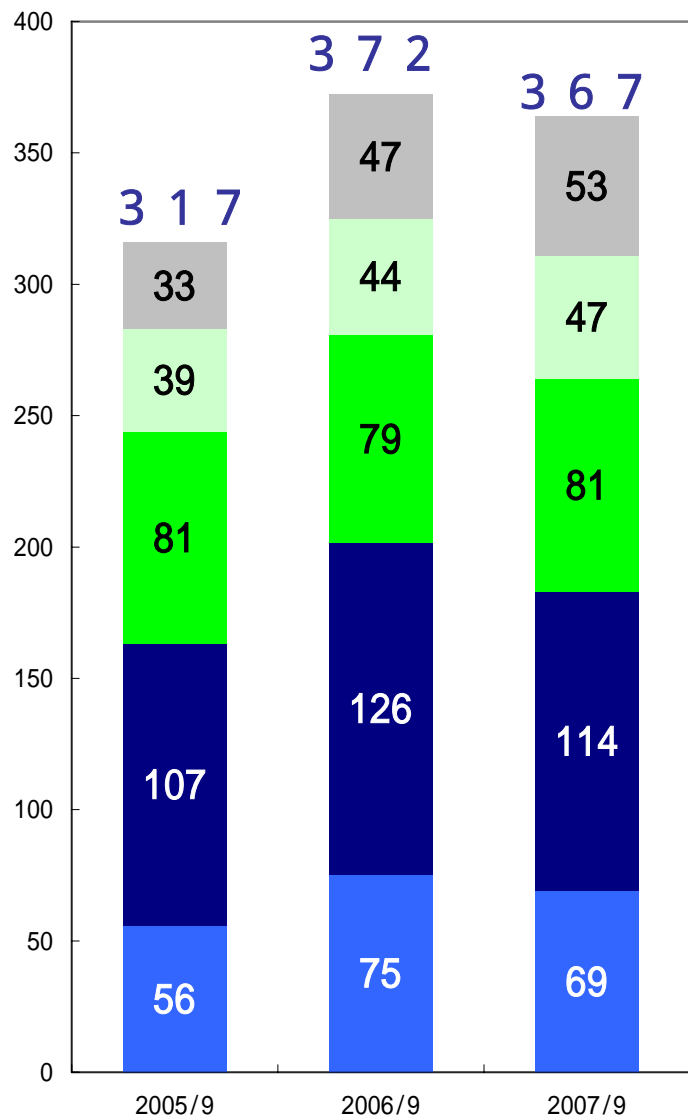


診療支援システム Prime park

# 4) 国内売上高

(億円)

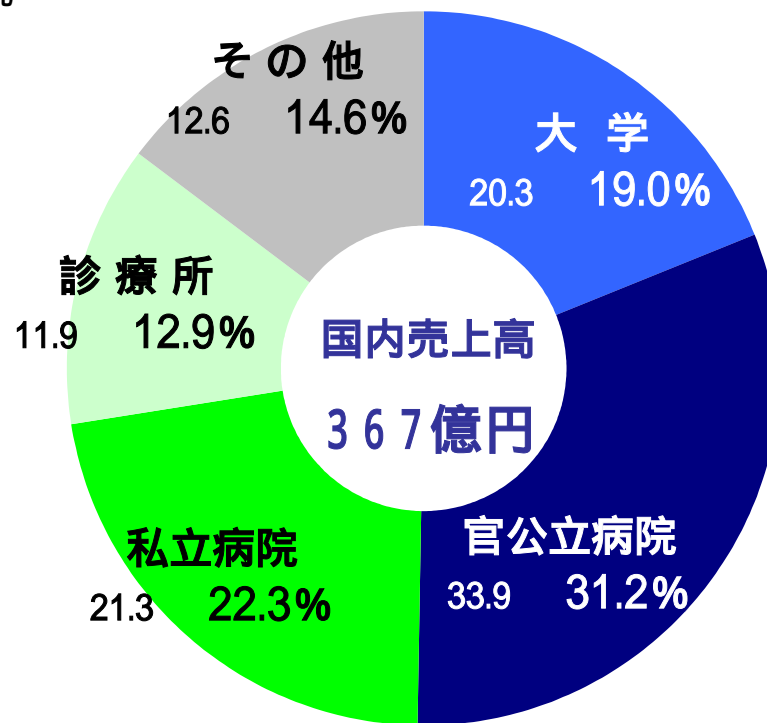
## 市場別売上高



- その他
- 診療所
- 私立病院
- 官公立病院
- 大学

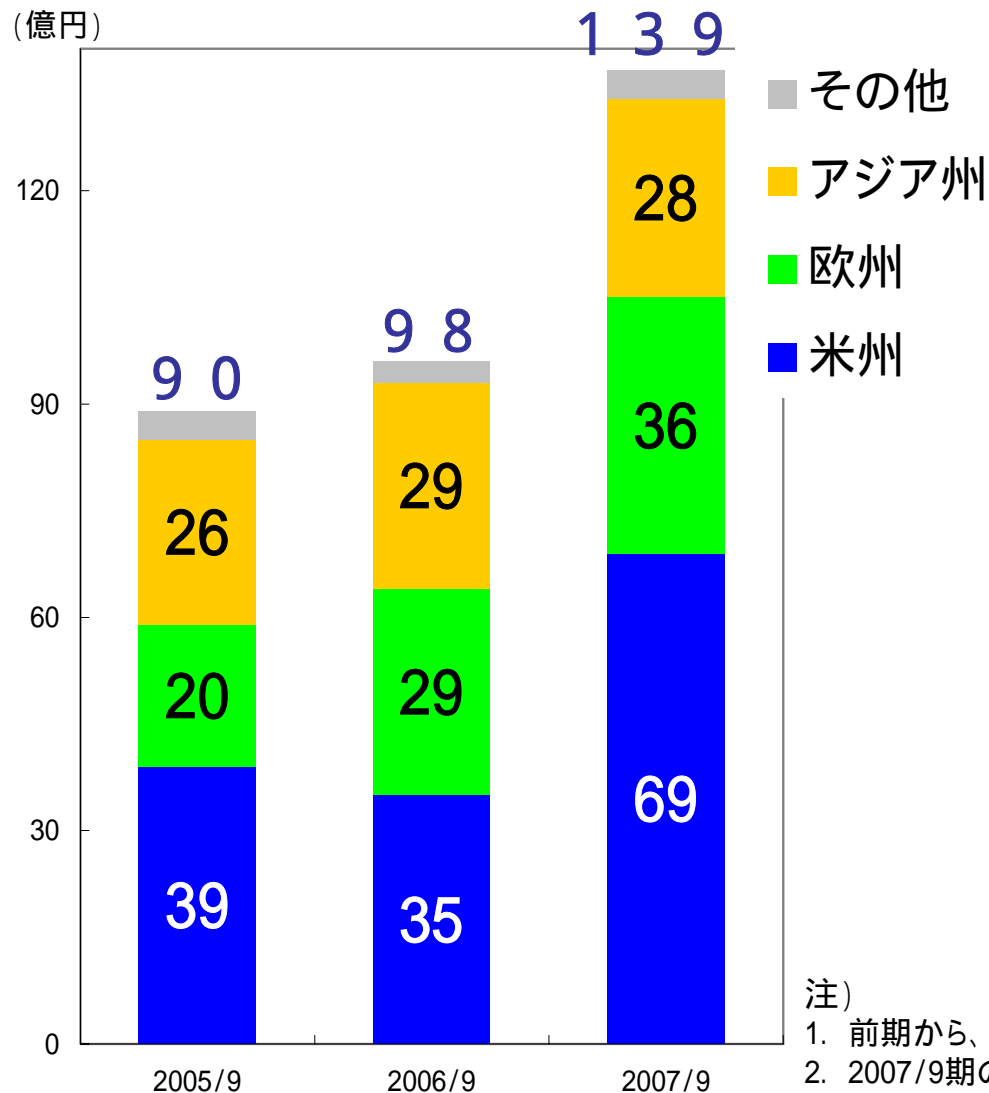
## 市場別売上構成比

(2006/9 2007/9)



# 5) 海外売上高

海外売上高構成

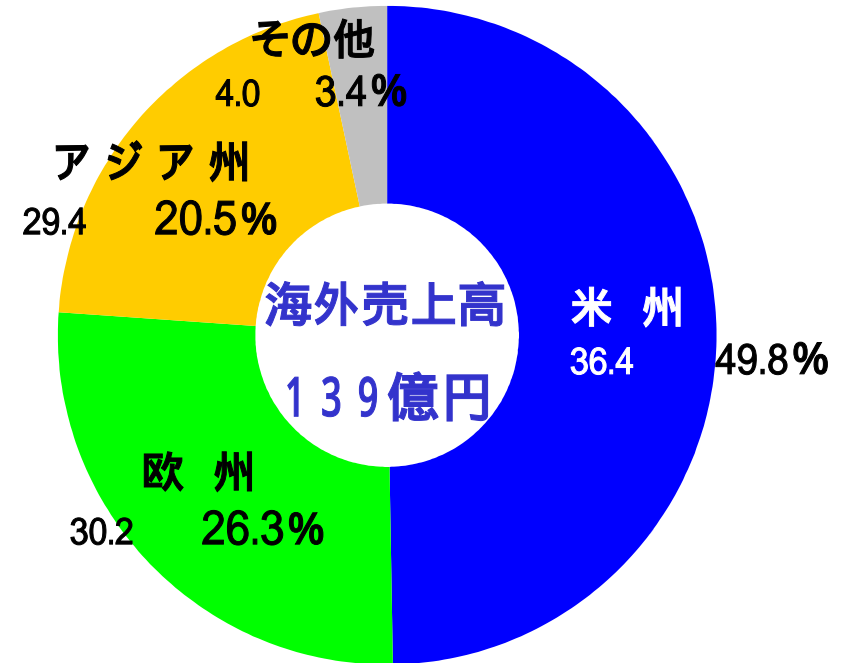


海外売上高比率

2005/9	2006/9	2007/9
22.1%	21.0%	27.5%

地域別構成比

(2006/9 2007/9)



注)

1. 前期から、「トルコ」の地域区分を「アジア」から「欧州」に変更しています。
2. 2007/9期の米州には、中南米での大口商談約22億円を含みます。

# 6) 財政状態

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前中間期末 (2006/9)	前期末 (2007/3)	当中間期末 (2007/9)	増減額
流動資産	56,455	58,908	56,485	2,422
固定資産	15,819	16,985	16,825	160
資産合計	72,274	75,894	73,310	2,583
流動負債	24,454	26,376	21,772	4,603
固定負債	607	653	527	125
負債合計	25,062	27,029	22,300	4,729
純資産	47,211	48,864	51,010	2,145
負債・純資産合計	72,274	75,894	73,310	2,583

上期末の取引に比べ年度末の取引が多いため。  
 売上債権 2,613  
 仕入債務 2,802

# 7) キャッシュフロー

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前中間期 (2006/9)	当中間期 (2007/9)	増減額
営業CF	2,693	5,021	2,327
投資CF	1,301	1,073	227
FCF	1,392	3,948	2,555
財務CF	831	1,567	736
換算差額	38	4	43
増減額	599	2,375	1,776
中間期末残高	11,404	13,403	1,999

	(06/9)	(07/9)	増減
税前利益	3,411	4,981	1,569
棚卸資産の増減(増加)	746	1,687	2,434
仕入債務の増減	1,429	2,802	1,373

	(06/9)	(07/9)	増減
短期借入金の純増減	208	795	587

## 8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2007/3	2008/3		増減額 (年度比較)
	通期実績	上期実績	通期計画	
設備投資額	2,986	819	4,000	1,014
減価償却費	1,698	944	2,100	402
研究開発費	4,756	2,318	4,900	144

設備投資の上期実績…………… 経常的な設備の更新  
新製品の「金型」投資

下期計画における主な案件… 新製品の「金型」投資  
試薬工場建設[富岡]  
基幹系システムの再構築

# 9) 通期の業績見通し

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2007/3	2008/3		増減率 (%)
	前期実績	期初予想	修正予想	
売上高	96,679	101,000	102,800	6.3
営業利益	7,973	8,700	9,500	19.1
経常利益	8,448	8,800	9,600	13.6
当期純利益	5,052	5,500	6,000	18.7
海外売上高	21,928	24,600	26,100	19.0
海外売上高比率	22.7%	24.4%	25.4%	

## 9) 通期の業績見通し

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2007/3 前期実績	2008/3		増減率(%)
		期初予想	修正予想	
生体計測機器	16,481	17,000	16,500	0.1
生体情報モニタ	19,673	21,300	22,100	12.3
治療機器	13,488	13,800	15,300	13.4
医療用品	29,407	30,200	32,100	9.2
その他	17,627	18,700	16,800	4.7
売上高合計	96,679	101,000	102,800	6.3

The background of the slide is a photograph of a clear blue sky filled with soft, white, fluffy clouds. A bright green, curved swoosh graphic starts from the bottom left and extends towards the top right, framing the central text.

# 当社の基本戦略

# 1) 経営ビジョン・経営方針

経営ビジョン 医用電子機器メーカーとしてのグローバルブランドの確立

経営方針

- 適正利益の確保による企業価値向上
- 顧客の信頼の確立
- 独創的技術・商品の開発
- 事業の重点展開と世界市場の攻略
- 事業国際化の推進
- 新事業への積極的展開
- 業務機構の改革
- 全員参加による事業運営
- CSRの推進

## 2) 長期経営目標

2012年度までに

売上高 1,400億円

営業利益率 10%

海外売上高比率 30%

を目指す

# 3) 中期経営計画

	2007/3 (実績)	2008/3 (予想)	2010/3 中期経営目標値	3ヵ年 伸び率
<b>売上高</b>	966億円	1,028億円	1,130 億円	16.9%
海外売上高比率	22.7%	25.4%	27.0 %	
<b>営業利益</b>	79億円	95億円	102 億円	27.9%
売上高営業利益率	8.2%	9.2%	9.0 %	
<b>ROE</b>	10.7%		12.0 %	
<b>在庫回転率</b>	6.4回		7.4回	

売上高 ÷ 在庫高 (6・9・12・3月末平均)

# 4) 2008年3月期の重点事項

**商品戦略** - 自社の強みを生かせる分野への注力 -

- ・病院のIT化に対応するシステムネットワーク商品の強化
- ・唯一の国内除細動器メーカーとしてAEDを開発

**国内販売戦略**

- ・システムソリューションを中心とした販売展開の強化
- ・PAD市場でのAED普及促進とランニング事業の推進
- ・医療安全に対応した保守サービス事業の拡大

**海外販売戦略**

- ・新商品の積極展開(高機能モニタ、動物用血球計数器など)
- ・中国事業の拡大を目指し、販売・サービス網を再整備

**事業基盤の強化**

- ・技術開発体制、営業・サービス体制強化のため、増員を計画
- ・基幹系システムの再構築による業務効率化の推進

# 5) 2008年3月期発売の自社商品

## 生体計測機器

**神経機能検査装置**  
国内2007年5月発売  
(米国MEE-1000発売済)  
MEE-1208/16/32



**脳波計**  
国内2007年7月発売  
(国内のみの販売)  
EEG-1218/24



## 生体情報モニタ

**ベッドサイドモニタ**  
海外2007年6月発売  
(国内発売済)  
BSM-9100



**臨床情報システム**  
国内下期発売予定  
(国内のみの販売)  
Prime-Gaia

## 除細動器・AED

**AED**  
国内2007年10月発売  
(国内のみの販売)  
AED-1200



**軽量・小型AED**

## 血球計数器

**動物用血球計数器**  
海外2007年6月発売  
(国内下期発売予定)  
MEK-6450



下期も、高付加価値商品のタイムリーな提供を推進

# [参考] PAD市場でのAED普及促進

私たちの行動で救える命があります



## AEDの設置場所

### 交通機関

(国際・国内)旅客機、空港、駅、観光バス、タクシーなど

### 公共施設、役所

市役所、市民会館、会議場、図書館、国会、裁判所など

### 学校、スポーツ施設

小中学校、高校、大学、体育館、競技場、スポーツジムなど

### 店舗、接客施設

ショッピングセンター、コンビニ店、映画館、銀行、ホテルなど

### 企業

オフィスビル、工場、事業所、保養所など

## AED講習会の実施



## 市民マラソンのサポート

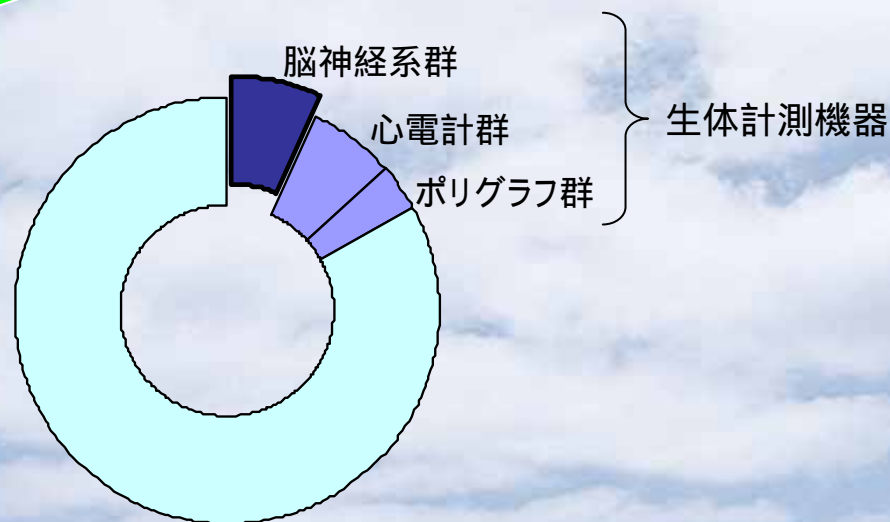


東京証券取引所

25

# 当社の脳神経機器事業

- 脳波計の世界トップメーカー -



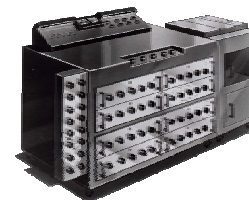
## 脳神経機器事業の売上高

07/3期 **67億円** (売上構成比7%)

# 1) 当社の脳神経機器事業の歴史

## 脳波計開発

1951 創業  
全交流直記式脳波装置 **世界初**



## 輸出の本格化

1960 海外の学会に脳波計を初出展  
台湾に脳波計を初輸出

1979 CRTモニタ内臓のマイコン脳波計 **世界初**

1983 EEGテレメトリシステム

## デジタル化

1991 デジタル脳波計 **国産初**

当時、高い性能と手頃な  
価格が評価され、米国  
でトップシェアを獲得

1993 Windowsを採用したデジタルファイリング脳波計

**世界初**

## ネットワーク対応

1998 脳神経情報ネットワークシステム

2004 無線LANによるデジタルEEGテレメトリ

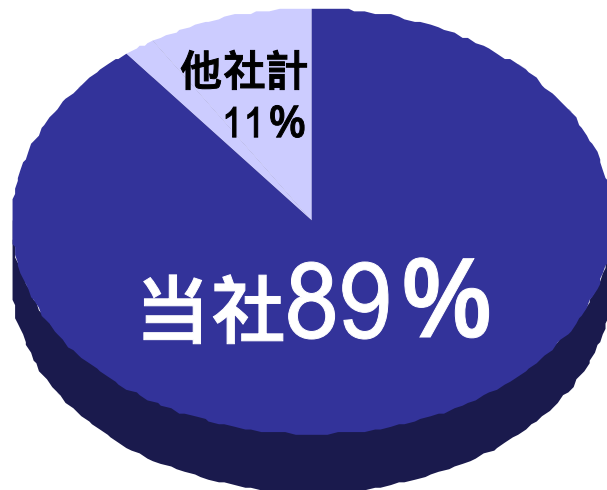


## 2) 国内市場規模

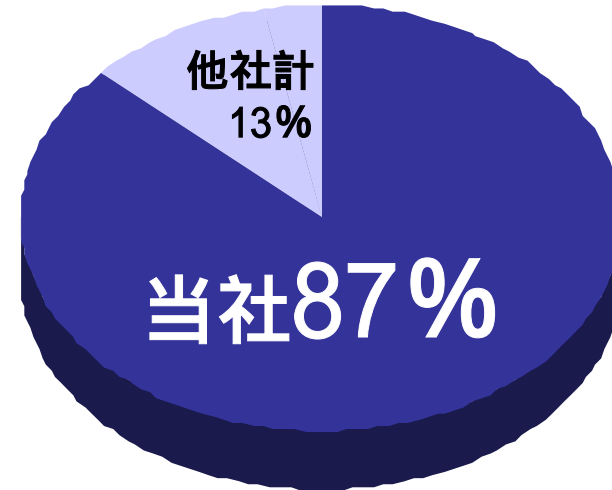
脳波計20億円

筋電図・誘発14億円

台数シェア  
480台



台数シェア  
356台

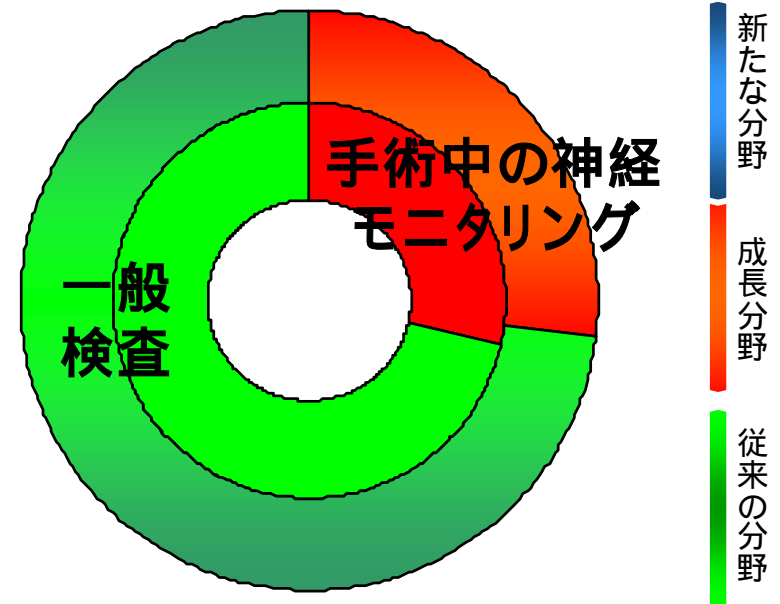
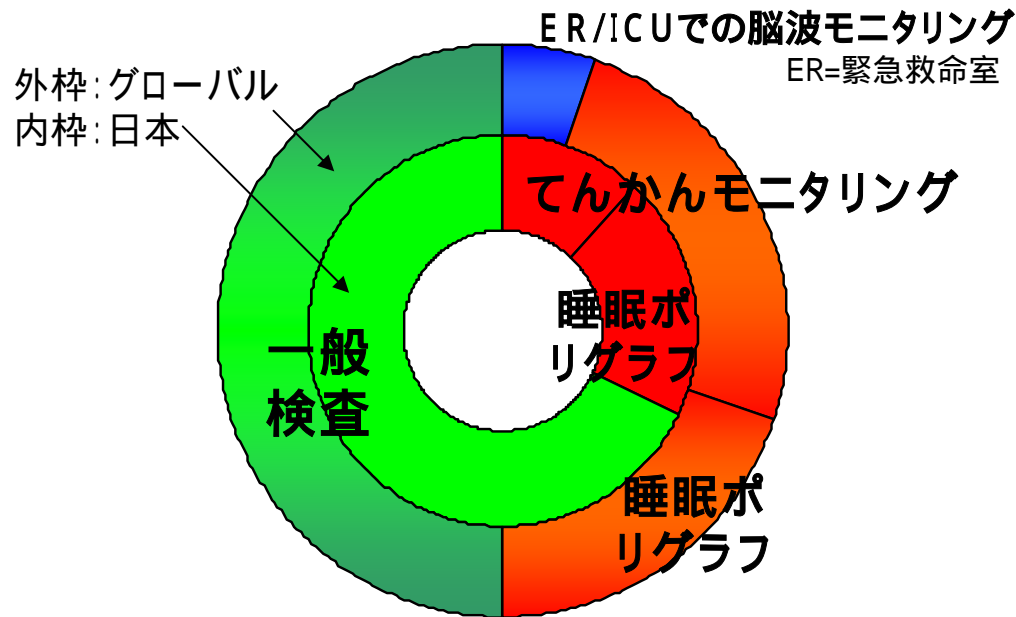


唯一の国内メーカーであり、国内市場はほぼ独占

# 3) ターゲット市場規模 (当社推定)

脳波計150億円  
うち日本 20億円

筋電図・誘発150億円  
うち日本 14億円



## 海外の競合他社

- Excel Tech
- Cardinal Health (ブランド: Nicolet Biomedical, Medelec)
- Natus Medical (同Bio-Logic)
- Cadwell Laboratories

## 睡眠ポリグラフ専門

- Covidien (同Puritan Bennett)
- Respironics

## 4) 当社の強み

### 強いブランド力、高いユーザー評価

脳神経機器のトップメーカーとして、高い信頼性とサービスに国内外で高い評価

### オピニオンリーダーであるドクターとの良好なリレーションシップ

産学連携による研究開発等、長年にわたって良好な関係を構築

### 高い技術力・システム開発力

ドクターや検査技師との情報共有を進め、医療現場のニーズに適応した商品を開発

### 営業・サービスのプロフェッショナルによるサポート

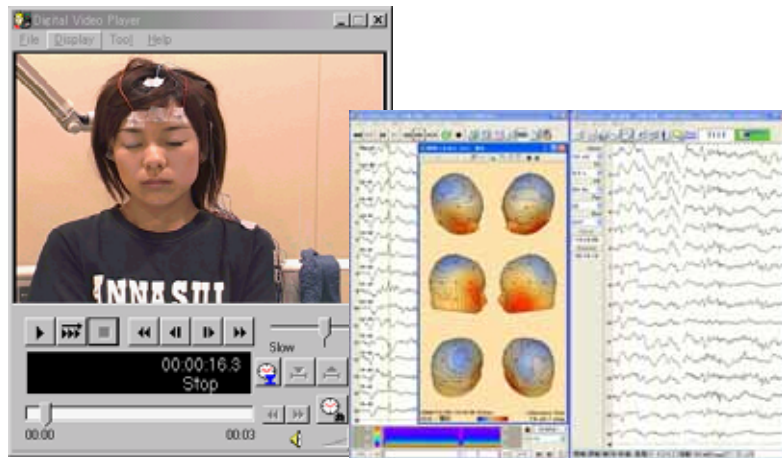
使用・操作方法が複雑な脳神経機器の適切使用・安全管理をサポート

# 5) 脳神経機器を使った検査

## 脳波検査

てんかん、脳腫瘍、睡眠障害など

頭皮に20個ほどの電極を付けて、脳内部の電気活動を検出し、記録します。



### てんかん

てんかんの場合、スパイク波などの異常脳波が表れます。



### 睡眠障害

脳波から、深い眠りがとれているか、睡眠時無呼吸によって脳が頻繁に起きていないか等がわかります。

## 筋電図検査

筋肉の運動障害、脱力、しびれ  
糖尿病による神経障害など

筋肉に針電極を刺して筋電図を記録し、歩行障害や痺れの原因が筋肉の障害によるものか神経の障害によるものかを検査します。  
また、糖尿病で神経障害になると、刺激の伝わり方が遅くなるため、神経伝導速度を測定します。



## 誘発電位検査

聴覚障害、聴神経腫瘍など

音や電気、光などの刺激を与えることによって、神経を經由して大脳に生じる電気信号(誘発電位)を記録します。たとえば、ヘッドホンから出る音で聴覚神経の機能を検査します。乳幼児の聴覚障害や聴神経腫瘍の発見などに使われます。

# 6) 研究分野での活用

身近なところでは・・・

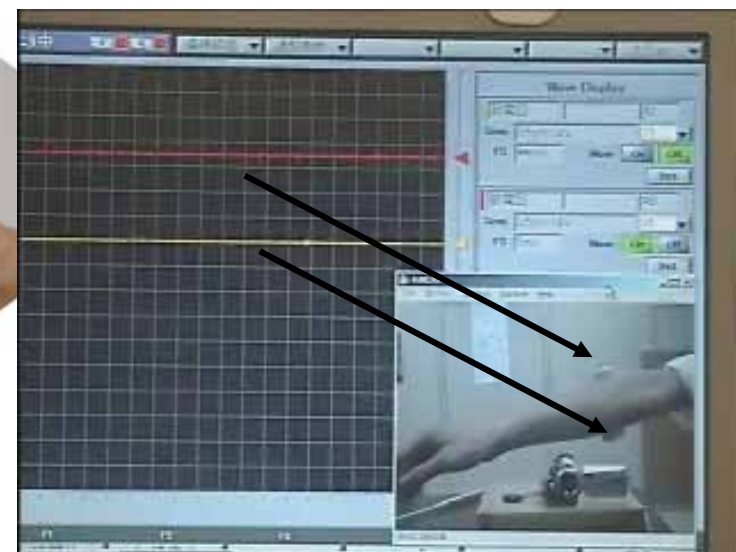
スポーツ科学、運動生理学



リハビリ研究



新マルチテレメータシステム(未発売)



# 7) 当社の脳神経機器商品

## 脳波計

<b>一般検査</b> EEG - 9100 		国内2007年7月発売 <b>EEG-1218/24</b> 		国内2006年12月発売 <b>EEG-1214</b> 		EEG - 9200 		<b>てんかんモニタリング</b> Aireeg 		EEG - 1100 	
--	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--

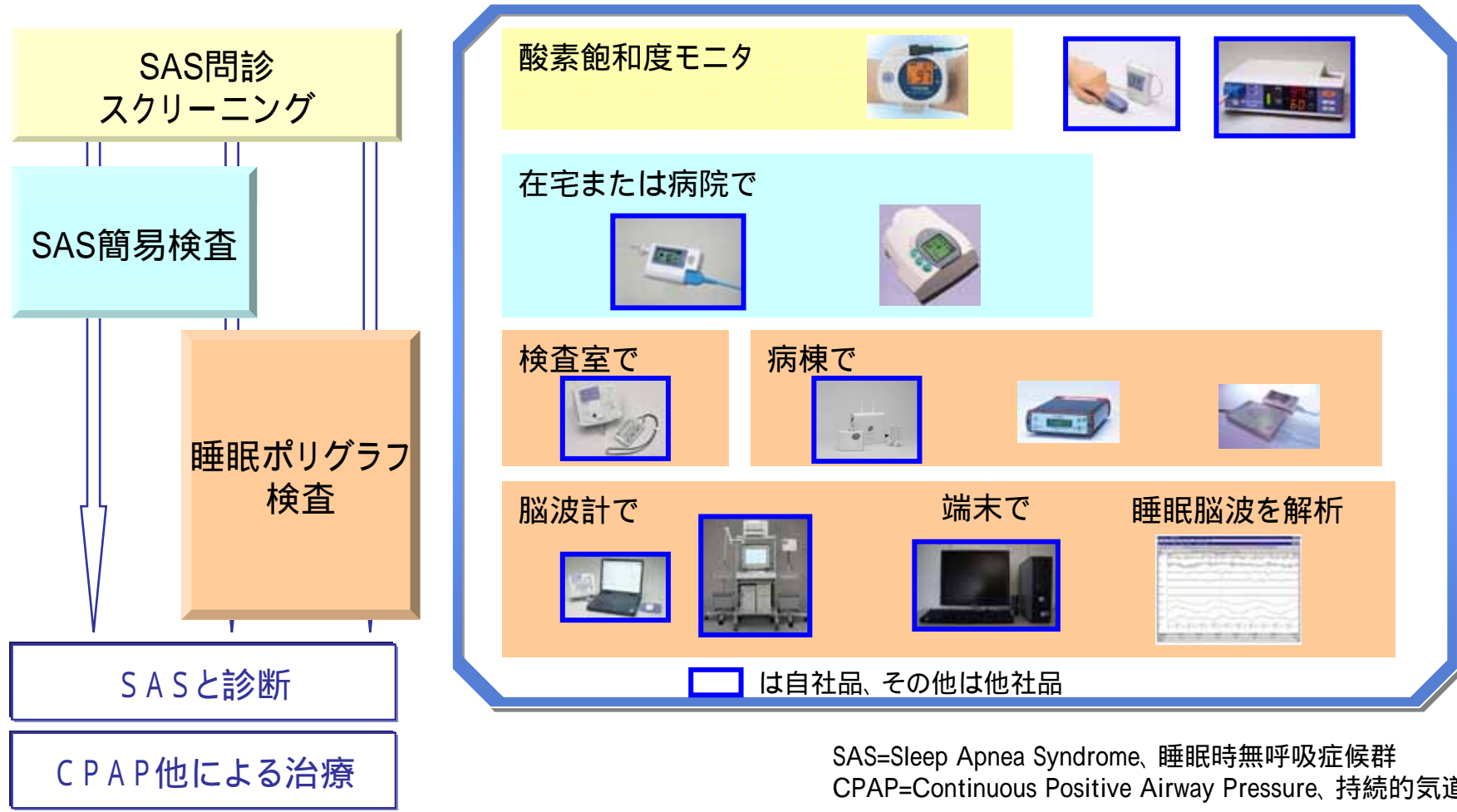
臨床部門	救命救急センター	精神科	小児科	脳外科	神経内科	呼吸器科	耳鼻咽喉科	スリープセンター
------	----------	-----	-----	-----	------	------	-------	----------

## 筋電図・誘発検査装置

<b>一般検査</b> 海外2005年7月発売 国内2006年9月発売 <b>MEB-9400</b> 		<b>術中モニタリング</b> MEB-9204 		MEB-2200 		<b>術中モニタリング専用機</b> 米国2005年12月発売 <b>MEE-1000</b> 国内2007年5月発売 <b>MEE-1208/16/32</b>  	
---	--	---	--	---	--	---	--

臨床部門	小児科	脳外科	神経内科	整形外科	歯科	手術室
------	-----	-----	------	------	----	-----

# 8) 睡眠検査用の商品[日本]



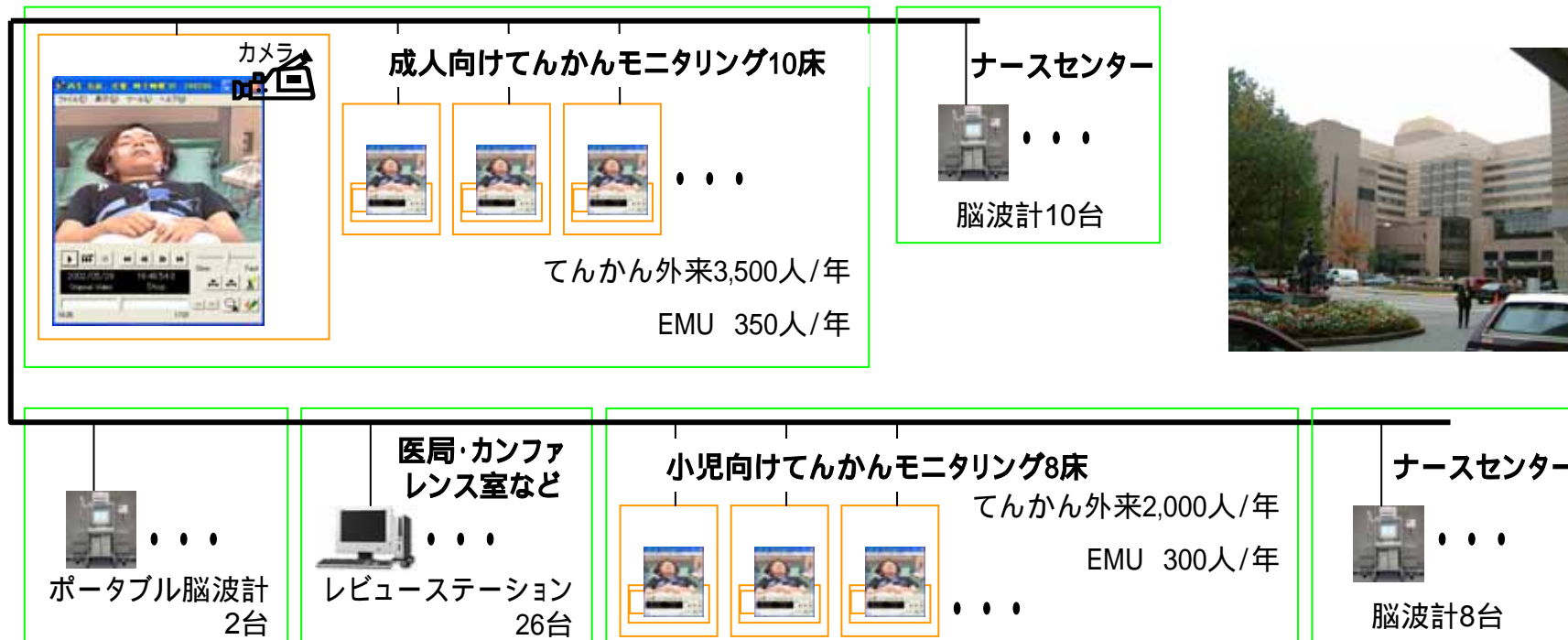
# 9-1) てんかんモニタリングでの実績 [海外]

## 米クリーブランドクリニック に大型てんかんシステムを構築

世界初のてんかん外科手術を行った米国トップクラスの病院

### EMU (てんかんモニタリングユニット)

数日間連続して脳波とビデオを同時に記録する検査

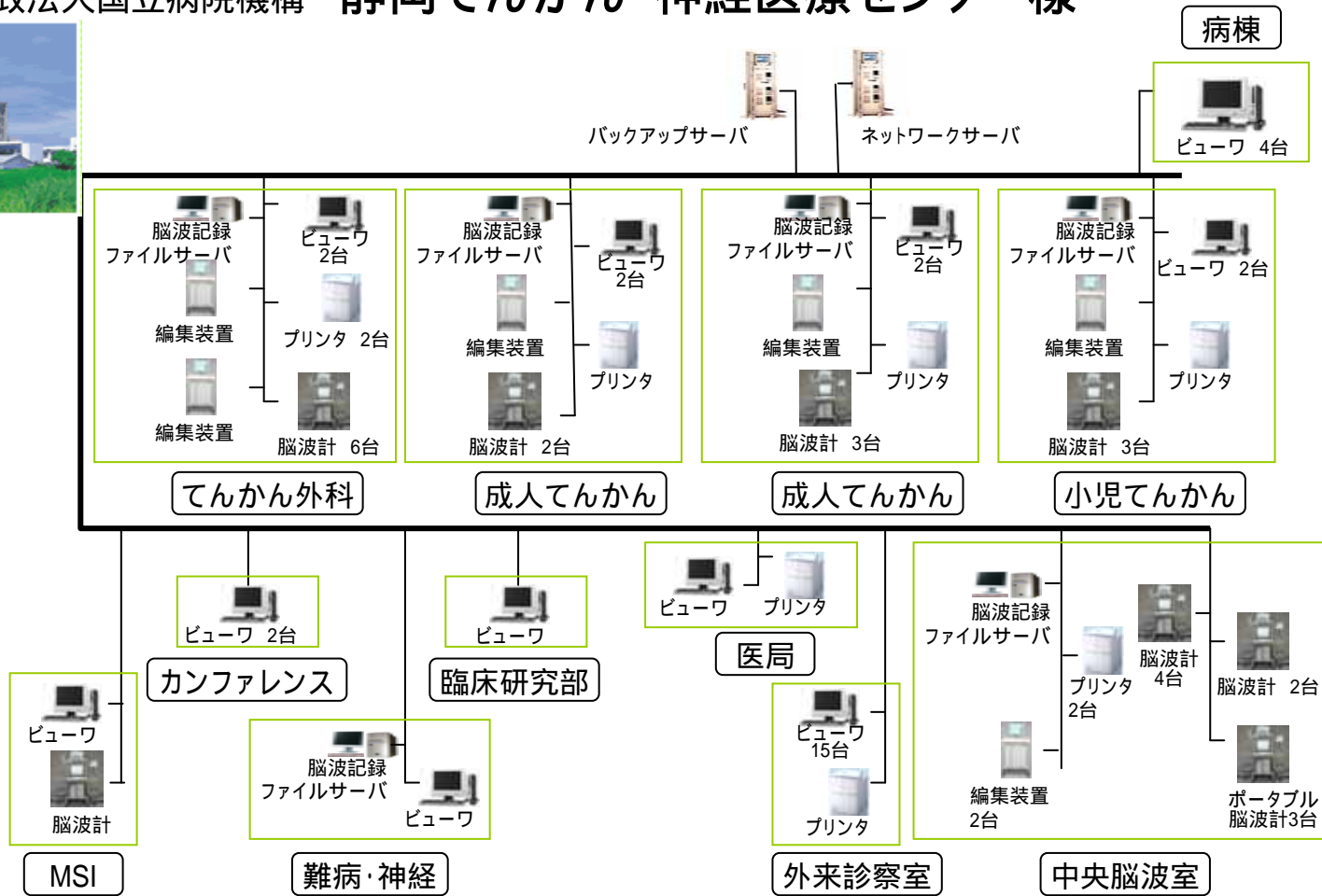


EMU=Epilepsy Monitoring Unit

# 9-2) てんかんモニタリングでの実績 [日本]

## 脳神経情報管理システム 納入事例

独立行政法人国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター様



# 10) 脳神経機器の新たな分野

検査・診断

脳波計

認知症やアルツハイマー病、うつ病

・睡眠時無呼吸症候群の増加 **睡眠ポリグラフ**  
・[海外]てんかん外科手術の普及 手術部位特定のための **長時間てんかんモニタリング**

てんかん、脳腫瘍  
意識障害、脳死判定など

ER・ICUでの脳波モニタリング

[米・欧]  
ベビーブーマーの高齢化に伴い  
脳血管疾患が増加

↓  
脳卒中等の患者に対する脳波モニタリングが急拡大(予後改善のため)

← 従来の分野

← 成長分野

ER=緊急救命室

← 新たな分野 →

筋電図誘発

検査・診断

筋肉の運動障害、脱力、しびれ  
糖尿病による神経障害  
聴覚障害、聴神経腫瘍など

**手術中の神経モニタリング**

[米・欧] 医療過誤の訴訟が増加

↓  
運動麻痺等の合併症予防に、手術中の神経モニタリングが拡大

検査対象疾病の拡大、モニタリングの需要増

# 11) 今後の取り組み

## 成長分野でのシェア拡大

**てんかんモニタリング** 拠点病院への深耕

### 睡眠ポリグラフ

[米]高性能の睡眠脳波データベースシステム、  
独自技術ETCO<sub>2</sub>センサーによる差別化  
[日]商品ラインナップの拡充



### 術中モニタリング

[米・欧]術中モニタリング専用機の欧州投入  
[日]新商品(MEE-1200)の積極展開

## 新たな分野への早期参入

**ER/ICUモニタリング** [米]当社の強みである脳波計と生体情報モニタの技  
術を融合し、市場のニーズに合った商品を開発

## 成熟分野での安定収益の確保

### 一般検査

[海外]需要好調な新興国での積極展開  
[日]新商品(EEG-1214、EEG-1218/24)の積極展開

**この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。**

**従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。**

**【担当部署】 経営企画室**

**【連絡先】 03-5996-8003**